

令和 7 年 3 月 1 日

足立区立千寿第八小学校
校長 桐敷 芳子 様

足立区立千寿第八小学校
開かれた学校づくり協議会
会 長 松林 正之

令和 6 年度 学校関係者評価書

1. 自己評価書全般について

桐敷芳子校長が着任して2年目となり、学校全体が明るく教職員がチームワークよく教育活動に取り組んでいるように感じます。先生方が、学校の目標である「ふれあう、学ぶ、元気な子」の達成に向けて、児童一人一人を大切にしながら熱心に取り組まれている姿勢が伝わってくる自己評価書の内容です。教員の働き改革が社会全体で叫ばれている中で、子供たちへの教育活動に影響が出ないように先生方が働き方を工夫していると聞き、その姿勢を高く評価します。

「学力向上」に関しては、先生方が児童一人一人の能力や課題に応じて指導方法を工夫して授業を行っていると聞きます。その結果、今年度も大変素晴らしい成果が得られたことは地域にとっても嬉しい限りです。授業診断では、先生や児童がタブレット端末を自在に使いこなして授業を行っている姿に驚きました。そのように情報化が進む中でも、本校が児童の会話などの直接的なコミュニケーションを大切にしていることに感心しました。話し合い活動を通して、思考力・判断力・表現力をお互いに高め合っている様子がよく見られました。また、正しい言葉遣いについても低学年から丁寧に指導しており、礼儀や学習規律といった昔から大切にしてきたことも丁寧に指導していることは嬉しく思います。今後も全児童が確かな学力を身に付け、児童一人一人が自信をもって生活できるよう指導の充実に努めてください。

「個の尊重と豊かな人間関係の育成」に関しては、挨拶指導やなかよし班活動を継続して指導していることが評価できます。生活の基本である挨拶や異年齢集団活動を大切にしていることは大変素晴らしいです。また、今年度もAOTSの留学生が旗振りの協力をしてくれたと聞きました。地域と学校が協力して子供たちを見守ることは大変素晴らしいことです。学校・PTA・地域が協力して、児童が元気で明るく学校生活を送れることを期待しています。また、本校では、いじめの早期発見・早期対応に積極的に取り組んでおられると聞いています。今後も、相手を思いやる心を育成し、いじめのない安心して通うことができる学校づくりを推進してください。

「体力向上と健康・安全の推進」に関しては、学校全体で体力向上に向けて努力していることがよくわかります。運動会や持久走大会では、一生懸命に取り組む子供たちの表情に感動しました。実施においては、熱中症や子供たちの体調に配慮しながら行ったと聞きました。子供たちの元気な姿をみると地域住民も活気づきます。今後も児童一人一人が運動する楽しさを味わい、自分の目標の達成に向けて頑張ることができるように学習内容をさらに充実させてください。

また、放課後子ども教室「1008キッズ」も、学年毎に曜日を分けて実施することで安全に配慮しながら運営しているようです。今後も連携・協力を継続して、子供たちの安全な居場所づくりと共に、児童の健全育成を推進していただきたいと思います。

千寿第八小学校の伝統である、金管バンドの演奏は地域住民の大きな楽しみの一つです。千八小ならではの特色ある教育活動が継続・発展するよう引き続き指導をお願いいたします。

2. 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

「挨拶」については、校長先生が毎日校門に立たれ、率先して挨拶をされているのが素晴らしいです。そのため、児童たちが校内ですれ違う保護者や地域の方々に対してもよく挨拶をしてくれて大変嬉しく思います。登校時に安全を見守ってくださる地域や保護者の方々、来校者の方々など、自分たちを日頃から支え見守ってくださる人たちに、挨拶を通じて感謝の気持ちを一層伝えられるようになってくれると更に嬉しく思います。保護者・地域の皆様、先生方には、粘り強く児童への指導を継続していただくようお願いいたします。協議会としても積極的に協力していきます。

「心の教育」については、道徳授業地区公開講座において本協議会が学校と共催で、親子のコミュニケーションの必要性について外部講師を招き講演会を実施いたしました。昨今は、親子共に忙しく、十分にコミュニケーションを取る時間がもてない家庭が増えていると聞きます。児童と共に、保護者にも心の教育の大切さを知ってもらう必要があります。今後も家庭との連携を密にして、知・徳・体の調和がとれた児童を育ててください。

3. その他

- ・学校だより、学校ホームページや開かれた学校づくり協議会において、児童の活躍や教育活動の様子、学力・体力等の定着の様子について知ることができています。今後もより一層、学校・家庭・地域が情報の共有や連携を行うことができるよう、開かれた学校づくりを推進してください。
- ・私たち協議会委員一同は、地域の代表として精一杯の協力をしていきます。学校と課題を共有し共に手を携えて解決に取り組んでいきます。協議会の中でも知恵を出し合い、学校に提言していきたいと思っております。